

②学修到達度評価

学修成果の質保証とその可視化のため、全開講授業科目を、ディプロマ・ポリシーに関わる資質・能力と対応させ、GPAを基にレーダーチャート化して、学生個人が学修成果を把握できるように、学修到達度シートとして学生に配付している。

なお、図のレーダーチャートは、卒業年次の学科の平均値である。

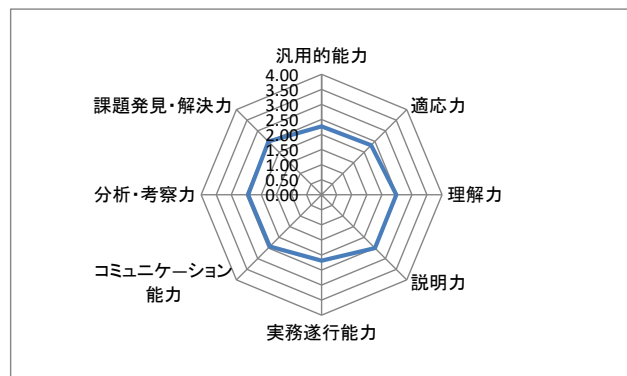
◆2020年度

学修到達度シート(ディプロマ・サプリメント)

学部学科	短期大学部 総合文化学科
入学年度	2019年度
学 年	2学年

資質・能力ごとのGPA

資質・能力	学科平均
汎用的能力	2.27
適応力	2.33
理解力	2.48
説明力	2.50
実務遂行能力	2.19
コミュニケーション能力	2.43
分析・考察力	2.44
課題発見・解決力	2.50



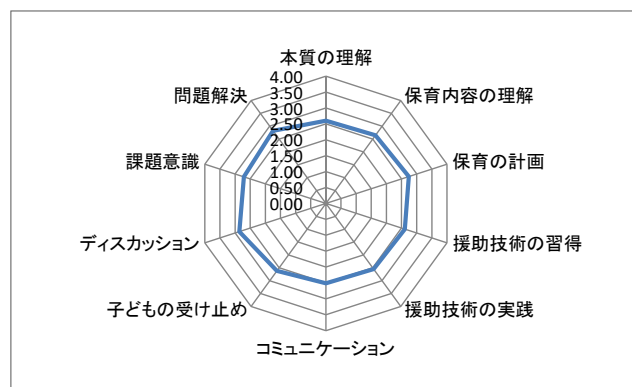
短期大学部 総合文化学科のディプロマ・ポリシーに関わる資質・能力

汎用的能力	多様な角度から状況をとらえ、地域や社会に生きる意義をふまえて生き方を考えることができる。
適応力	様々な事柄や変化に自分を適応させることができる。
理解力	人間や社会・地域を、歴史と文化を踏まえて総合的に理解できる。
説明力	歴史・文化を踏まえて総合的に社会事象を説明することができる。
実務遂行能力	実社会で働くために必要な実務を遂行することができる。
コミュニケーション能力	意見や立場が異なる相手と意見交換・議論を通じて調整することができる。
分析・考察力	社会や地域の課題を歴史・文化・産業等と関連させて分析・考察できる。
課題発見・解決力	適切な分析・考察に基づき課題を発見し、解決の方向に向かうことができる。

学部学科	短期大学部 子ども学科
入学年度	2019年度
学 年	2学年

資質・能力ごとのGPA

資質・能力	学科平均
本質の理解	2.60
保育内容の理解	2.65
保育の計画	2.74
援助技術の習得	2.61
援助技術の実践	2.55
コミュニケーション	2.51
子どもの受け止め	2.62
ディスカッション	2.86
課題意識	2.71
問題解決	2.82



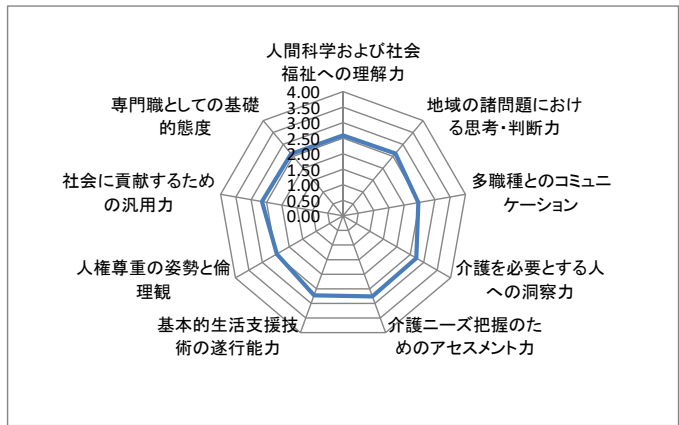
短期大学部 子ども学科のディプロマ・ポリシーに関わる資質・能力

本質の理解	保育者の専門性に関する知識を踏まえ、保育・教育の本質を理解し説明する。
保育内容の理解	保育内容の専門性をつなぎ合わせて考える。
保育の計画	子どもの観察をもとに保育を計画・実践し、考察する。
援助技術の習得	保育をするための方法や技術の必要性を理解し、身につける。
援助技術の実践	習得した方法や技術を、子どもの姿に即して実践する。
コミュニケーション	保育者を目指す者として人や場面に応じて、言葉を介して相応しい言動をとるとともに、子育て支援の大切さを知り状況に応じた対応について考える。
子どもの受け止め	五感を通して豊かな感性と情操を身につけ、実践をとおして子どもの姿に即して共感的に受け止める。
ディスカッション	自分の意見を発表し他人の意見に傾聴・共感し、さらに、自分の意見を再構築し発表する。
課題意識	社会人としての教養を身につけ、学びに向かう。
問題解決	自ら問題を発見し、解決に向けて探究する。

学部学科	短期大学部 人間福祉学科
入学年度	2019年度
学 年	2学年

資質・能力ごとのGPA

資質・能力	学科平均
人間科学および社会福祉への理解力	2.59
地域の諸問題における思考・判断力	2.62
多職種とのコミュニケーション	2.46
介護を必要とする人への洞察力	2.72
介護ニーズ把握のためのアセスメント力	2.76
基本的な生活支援技術の遂行能力	2.72
人権尊重の姿勢と倫理観	2.46
社会に貢献するための汎用力	2.65
専門職としての基礎的態度	2.60



短期大学部 人間福祉学科のディプロマ・ポリシーに関わる資質・能力

人間科学および社会福祉への理解力
地域の諸問題における思考・判断力
多職種とのコミュニケーション
介護を必要とする人への洞察力
介護ニーズ把握のためのアセスメント力
基本的な生活支援技術の遂行能力
人権尊重の姿勢と倫理観
社会に貢献するための汎用力
専門職としての基礎的態度